



神戸徳洲会病院
患者安全宣言

1. 患者安全を最優先し、生命を安心して預けられる病院を目指します。
2. 透明性ある医療を提供し、患者様やご家族様への説明と同意を徹底します。
3. 全職員が医療安全に関する知識・技術を習得できるよう、継続的な教育研修を実施します。

[医療安全に関する調査報告・改善への取り組み](#)
[外来診療担当医表](#)
[外来診療表\(PDF\)](#)
[休診・代診情報](#)

医療安全に関する改善への取組状況について

TOP > 医療安全に関する改善への取組状況について

- > 医療安全に関する改善への取組状況について
- > 病院長より医療安全に対する決意表明
- > 調査報告
- > 医療安全に関する改善への取り組み状況

医療安全に関する改善への取組状況について

当院の一連における医療安全体制に関する問題について、患者様や地域の皆様にも多大なご迷惑、ご心配をおかけしておりますこと深くお詫び申し上げます。2024年2月に神戸市より行政処分（改善措置命令）が出され、現在改善計画に基づく改革を進めております。今後、患者様や地域の皆様にも当院の医療安全に関する改善への取り組み状況について当ホームページにて公開をしております。

- [病院長より医療安全に対する決意表明](#)
- [調査報告](#)
- [医療安全に関する改善への取り組み状況](#)

病院長より医療安全に対する決意表明

この度は、当院における医療安全上の問題に関し、患者様ならびにご家族様に多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

2023年7月、当院循環器内科カテーテル治療・検査において、複数件の死亡事案が発生したとの内部からの外部通報を受け、神戸市保健所による立ち入り調査が入り、その後大きく報道されることとなりました。2023年8月には神戸市より医療安全上の問題を指摘する「行政指導」を受けましたが、その後も循環器内科カテーテル以外で同様の事象が複数発生し、それらについて適切に対応ができていなかったことから、2024年2月には医療法人徳洲会に対して「改善措置命令」が出されました。

このような事態は、当院がこれまで「患者安全」を十分に重視して病院運営を行ってこなかった結果であり、深く反省しております。

循環器内科カテーテル治療・検査における事案につきましては、診療を開始した2023年1月から7月までの期間内に死亡退院となった事例が11件あり、合併症として検証を必要と判断した事例が1件ありました。このうち2件につきましては医療事故調査制度に基づき調査が完了し、いずれもご家族への説明を実施いたしました（内1件は医療過誤であることを認め、ご家族へ謝罪、もう1件は引き続きご家族様及び代理人の方とやり取りを実施）。その他の9件と合併症事例1件の計10件については個別検証を完了し、現在ご家族への説明会を行っているところです。

また、循環器内科カテーテルの問題以後に発生した3件につきましては、糖尿病見落とし事例については医療事故調査制度の対象として調査が完了しご家族へ説明を終え（医療過誤であることを認め、ご家族へ謝罪）、気管支鏡検査事例につきましては医療事故調査制度の対象として調査が完了し現在報告書作成中、昇圧剤交換遅れの事例につきましてはご家族へ説明を終え（医療過誤を認め、ご家族へ謝罪）しております。調査結果の報告に時間を要していること、重ねてお詫び申し上げます。これらの調査とご家族への説明が完了次第、速やかに結果を公表いたします。

私は2024年4月に院長に就任し、この問題を重く受け止め、医療安全体制の抜本的な改革を最優先事項として取り組んでおります。すでに、「行政指導」と「改善措置命令」に対する是正計画書および改善計画書を神戸市に提出しており、2024年6月6日には神戸医療圏地域医療調整会議・病床機能検討部会にてその実施状況を説明いたしました。この場では、大変厳しいご指摘とご意見をいただきました。

これらの意見を真摯に受け止め、医療安全を専門とする大学教授のチームによる定期的な評価体制を構築し、「神戸徳洲会病院 医療の質改善委員会」を立ち上げ、改善計画に基づいた取り組みを進めております。さらに、病院機能評価機構による第三者評価を2025年9月に受審することを決定し、今回の改善計画と並行して取り組んでまいります。

これらの取り組みや評価内容については、当院ホームページ上で定期的に公表し、地域の皆様や関係者の皆様に透明性を確保いたします。

神戸徳洲会病院は、今回の反省を踏まえ、以下の「患者安全宣言」を掲げ、地域の皆様の信頼回復を目指してまいります。

神戸徳洲会病院 患者安全宣言

1. 患者安全を最優先し、生命を安心して預けられる病院を目指します。
2. 透明性ある医療を提供し、患者様やご家族様への説明と同意を徹底します。
3. 全職員が医療安全に関する知識・技術を習得できるよう、継続的な教育研修を実施します。

神戸徳洲会病院が、患者安全を優先した信頼される病院として地域に貢献できるよう、職員一同、一丸となって取り組んでまいります。何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年8月1日
神戸徳洲会病院 院長 尾野 亘

調査報告

現在、以下の事例に関する調査及び家族説明を実施しております。調査及び家族説明が完了し次第、結果の公表を実施してまいります。

循環器内科カテーテル治療・検査に関する事例

循環器内科カテーテル治療・検査に関する事例については、診療を開始した2023年1月から7月までの期間内に死亡退院となった事例が11件と、合併症として検証が必要と判断した事例1件の合計12件について調査を実施しております。

事例1

医療事故調査制度の対象として調査が完了し、6月末に家族説明会を開催し、引き続きご家族様及び代理人の方とやり取りを実施しております。

事例2

医療事故調査制度の対象として調査が完了し、4月末に家族説明会を開催し、医療過誤であることを認め、ご家族に謝罪をいたしました。

事例3～事例12

外部専門家の意見を含めた個別検証を実施し調査が完了、ご家族（合併症事例はご本人）に対して報告書の送付及び説明会を実施しております。説明会については8月中を目途に完了する予定です。

糖尿病見落とし事例

2023年9月に入院中の患者様の糖尿病既往歴を見落とし治療がなされないまま、高血糖が原因と考えられる死亡の事例が発生しました。

本件は医療事故調査制度の対象として調査が完了し、5月末に家族説明会を開催、医療過誤を認め、ご家族に謝罪をいたしました。

気管支鏡検査事例

2023年10月に入院中の患者様が喀血後に気管支鏡検査を実施し、その後死亡された事例が発生しました。

本件は医療事故調査制度の対象として調査が完了し、現在報告書を作成中です。

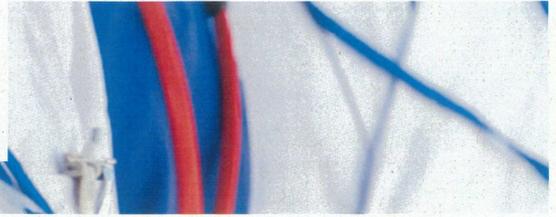
昇圧剤交換遅れ事例

2024年1月に心肺停止による救急搬送後、お看取りの方針として入院となった患者様が、継続的に昇圧剤投与が必要な状況下で薬剤交換が遅れ、その後死亡された事例が発生しました。

医療事故調査制度の対象とはしておりません（医療事故調査・支援センターへ対象の報告対象か否か確認）が、院内検証を行った結果、医療過誤であることを認めご家族へ謝罪をいたしました。

2024年8月1日

医療安全に関する改善への 取組状況について



TOP > 医療安全に関する改善への取組状況について > 医療安全に関する改善への取り組み状況

» 医療安全に関する改善への取組状況について

> 病院長より医療安全に対する決意表明

> 調査報告

> 医療安全に関する改善への取り組み状況

医療安全に関する改善への取り組み状況

- [神戸市からの改善措置命令事項及び行政指導事項](#) 
- [是正計画書 2023年10月18日提出](#) 
- [改善計画書 2024年4月1日提出](#) 
- [改善措置命令に対する改善計画スケジュール 2024年5月末時点](#) 
- [2024年6月6日神戸圏域地域医療構想調整会議・病床機能検討部会資料](#)
- [改善計画書の追加指導及び改善計画書の追補計画](#) 